

鬼北川柳会

暖冬や生き易しとも不気味とも
切り残る枝ほこらしく梅一輪
享年二十五没ブーゲンビルとありぬ冬
山寺の閑けさ増して春の雨
隣まで濡れて小走り春の雨
きさらぎのダムに日当り師の忌日
剪定の終りし果樹のダイエット
寒灯の消えて山里闇に消ゆ
とりとめもなき筆談や日脚伸ぶ
石一つおいて神とし山始
立春に凜とした顔餓鬼大将
父看取る嫁にせめての根深汗
受験子の日毎に寡黙募り来し

鬼北句会

上甲 正志
武田 武英
松本 久江
今西 英子
二宮千代子
三宮 友子
松岡 寛孝
芝 都留
新倉地映子
芝 光恭
白敷フサ子
上甲 斗志
小越 安隆
大西 広洋
大本ミヤ子
宇都宮 孝
那須 栄山
都 瞳
大沢和希子
栗木 一郎
宇都宮七郎
那須栄山
宇都宮 孝
那須 栄山
都 瞳
水野 貞子
芝 幸子
若宮 賢敬
清家 厚美
宮脇マサエ
武田 浅美
お開きと告げて名残の会終わる
テレビ番組楽しい時間すぐ終わる
1年のドラマが終わる十二月
ブランボーの声で終われば本望だ
終わりとは言うなあしたの陽が昇る
反省はサルでも出来る愚か者
反省の前に言い訳二つ三つ
反省が揺らぐ心にある未練
成功の元は反省かも知れぬ
反省と欲望生きる支えかも
ケチな父私助けた父の金
ゴミの山まんなお金で買った物
政治家のお金ときどき喋りだす
ほどほどの金でほどほどの生きている
預金無し資産も無いが子が宝
お金見て喜ぶ顔は妻や孫

上甲 正志
武田 武英
松本 久江
今西 英子
二宮千代子
三宮 友子
松岡 寛孝
芝 都留
新倉地映子
芝 光恭
白敷フサ子
上甲 斗志
小越 安隆
大西 広洋
大本ミヤ子
宇都宮 孝
那須 栄山
都 瞳
大沢和希子
栗木 一郎
宇都宮七郎
那須栄山
宇都宮 孝
那須 栄山
都 瞳
水野 貞子
芝 幸子
若宮 賢敬
清家 厚美
宮脇マサエ
武田 浅美



大きくなったら 近永小学校

